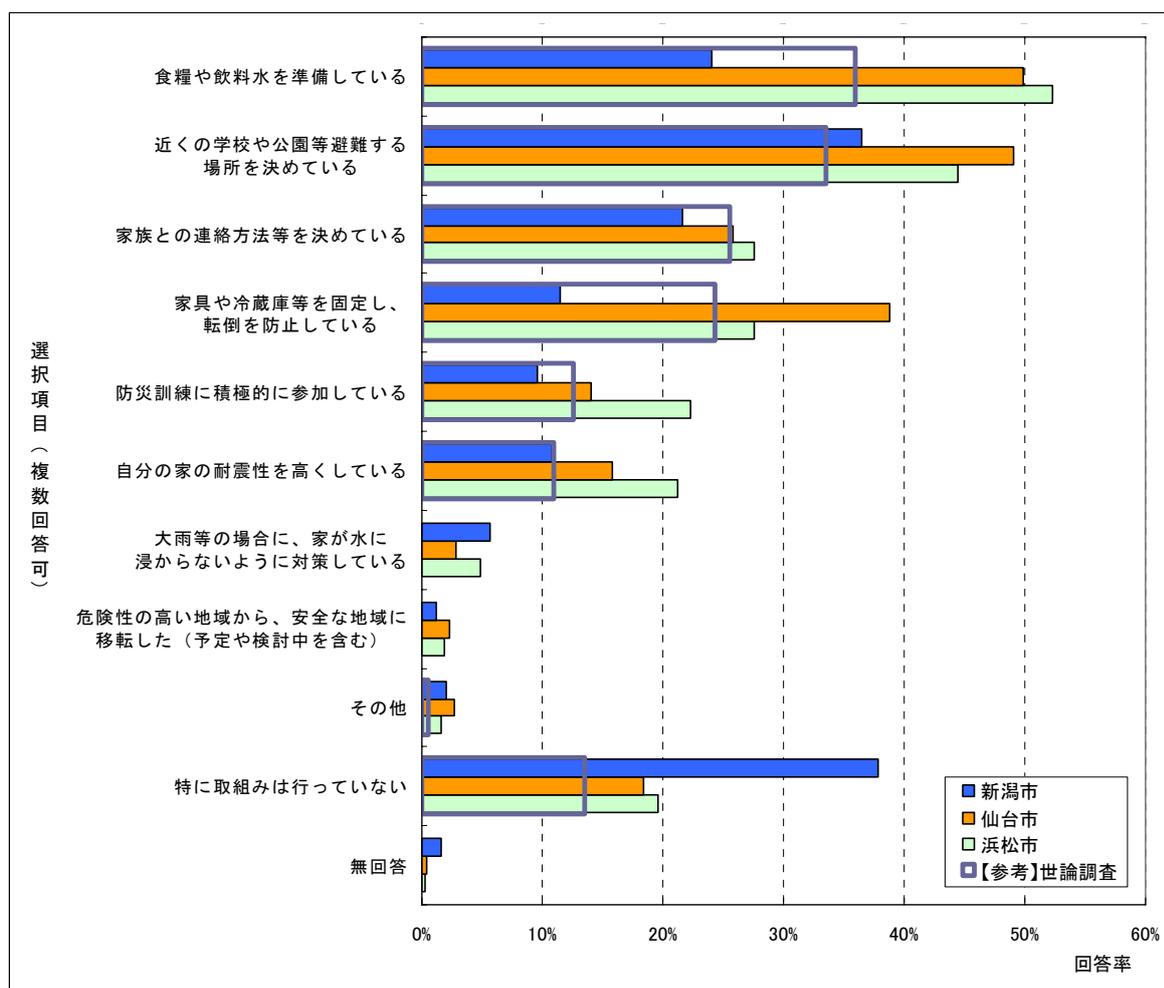


④ 各戸の防災対策状況

災害時に自分や家族の命を自ら守るために、どのような取組みを行っているかについて、新潟市、仙台市、浜松市において調査した結果、新潟市では、「特に取組みを行っていない」とする回答が最も多く、約38%の結果となった。

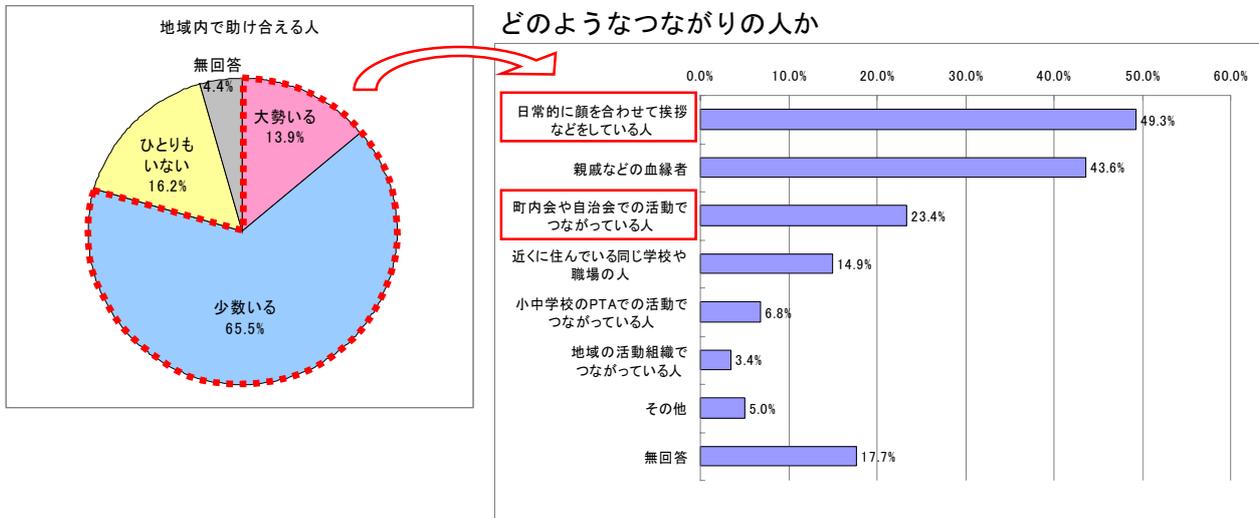
また、その他の項目の取組み状況についても、新潟市民は、平時の災害対策への取組みが全国的な傾向と比較してもやや低く、今後は防災対策への意識高揚や実際の取組みの促進が課題である。

災害時に自分や家族の命を自ら守るための取組み（3市及び世論調査の比較）



⑤ 地域内で助け合える人（アンケート結果より）

いざというときに助け合える人や信頼して相談できる人の有無を調査した結果、約80%が少数以上いると回答している一方、約16%は「ひとりもいない」と回答している。

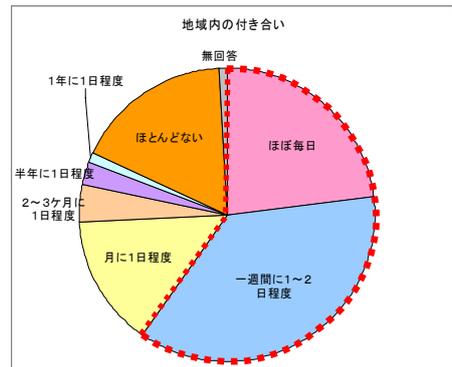


地域内で助け合える人は、「血縁者」を除けば「日常的に顔を合わせて挨拶などを行っている人」とする回答が最も多く、次いで「町内会や自治会」など、日常的な地域活動との関連性が高い結果となっている。

また、家族以外の人との会話やお付き合いの頻度を調査した結果、「毎日」、「週に1～2回程度」とする回答が全体の約6割を占めている。

この「地域内で助け合える人の有無」と、「地域内での付き合いの状況」を比較（クロス集計）すると、下表のとおり、助け合える人が「大勢いる」人ほど地域内でのつきあいの頻度が高い傾向がある。

地域内で助け合える人が「ひとりもいない」とする市民と地域内の活動をどのようにつながられるかが、課題解決に向けたひとつの示唆と考えられる。



地域内の付き合い	回答数	回答率
ほぼ毎日	792	22.9%
一週間に1～2日程度	1,271	36.8%
月に1日程度	492	14.3%
2～3ヶ月に1日程度	149	4.3%
半年に1日程度	86	2.5%
1年に1日程度	38	1.1%
ほとんどない	593	17.2%
無回答	30	0.9%
合計	3,451	100.0%

■クロス集計表

	地域内の付き合い								合計
	ほぼ毎日	週に1～2日程度	月に1日程度	2～3ヶ月に1日程度	半年に1日程度	年に1日程度	ほとんどない	無回答	
大勢いる	274 57.2%	149 31.1%	38 7.9%	4 0.8%	2 0.4%	0 0.0%	11 2.3%	1 0.2%	479 100.0%
少数いる	458 20.3%	978 43.3%	347 15.3%	111 4.9%	62 2.7%	26 1.1%	267 11.8%	12 0.5%	2261 100.0%
一人もいない	23 4.1%	90 16.1%	92 16.4%	25 4.5%	19 3.4%	11 2.0%	300 53.6%	0 0.0%	560 100.0%
無回答	37 24.5%	54 35.8%	15 9.9%	9 6.0%	3 2.0%	1 0.7%	15 9.9%	17 11.3%	151 100.0%

「助け合える人の有無」別の「地域内のお付き合い」の状況
 1番目に多い 2番目に多い 3番目に多い